



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治孝

新潟 RC 1 月第 1 例会 (2023.1.10) (Zoom 例会併催) No.3442

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」ピアノ演奏

(2) 石川 治孝会長挨拶

今年の初めのお話も小堀遠州です。これまでご紹介してきたように、小堀遠州の仕事の量は膨大ですが、その中の晩年の作品である遠州が自身のために建立した菩提寺が、ここ大徳寺孤篷庵です。

この孤篷庵は非公開で特別公開の時しか拝観できません。

孤篷庵という名称ですが、これは小さな葦船という意味です、これは小堀遠州自身の事をたとえたもので、近江出身の小堀ですから、琵琶湖に浮かぶ小さな船を見て育ったはずで、小堀自身の人生を琵琶湖を渡る小さな船に見立てていることが想像できます。

江戸時代初期の 1612 年 (慶長 17 年)、大徳寺の別の塔頭『龍光院』内に遠州が庵を建立したのははじまりです。約 30 年後の 1643 年 (寛永 20 年) に現在地に移転しました。残念ながら遠州により建立された建築は 1793 年 (寛政 5 年) に火災で焼失してしまい。茶室含め、今日見られる建築は 1797~1799 年にかけて茶人としても有名な松江藩主・松平治郷 (松平不昧) により再建されたものですが、孤篷庵は最初から小堀遠州の手で建築庭園などが計画された物で大変に貴重なものと言えます。

この孤篷庵は名前の通り、おそらく小堀遠州の生まれたふるさと近江の琵琶湖を渡る船での旅がモチーフ (小堀遠州の人生自体がモチーフ) になっていると推察できる部分が数多く存在します。そのあたりを今回皆さんにご紹介したいと思います。全体の構成はこうなっていて桂離宮と同時期に作られたもので、桂離宮と同じ雁行型の書院です。この部分にかの有名なお茶室、重要文化財の茶室「忘筌」があります。

このお茶室はまた後程触れるとして、アプローチか

らお話しします。孤篷庵の入り口はこのような枯れ堀を石橋で渡って入るように作られています。ここには水は流れておらず、ただ堀の形が有るのみです。これは孤篷庵全体が岸辺の水面の上に建てられていることをイメージさせるためなのかもしれません、まさに琵琶湖に浮かぶ一隻の舟を、孤篷庵の敷地全体で表しているのかもしれません。

表門をくぐった後に、この真っ直ぐに伸びた「延段」(のべだん) が目に入ってきます。

同様の延段は、孤篷庵とほぼ同時期に造られたと考えられる桂離宮にも「行の延段」として昨年ご紹介しました、この時期の小堀遠州の庭以前に造られた庭園には、見ることのできない園路です。

途中で右手に、孤篷庵の内玄関があり、拝観の際にはここから入ります。

ここでも使われているビスタ的手法の一本の松の木と、その奥の (茶会に招かれた客が、亭主に呼ばれるまで一休みする「外待合」)。そして、その手前で、延段は直角に右へ折れ曲がっています。

直角に折れ曲がる角の細長い石の右側が、緩やかに右へカーブし、足取りを右へ誘う。この気遣いが植木屋的にはグッとくるどころです。

直角に横に伸びた先に、本玄関があります。孤篷庵ご住職のお話によると、この本玄関の屋根は、屋形船の屋根をイメージしているとのこと。

「鑑葺」(よろいぶき) という珍しい方法で屋根葺いて。檜皮(ひわだ:)と、柿(こけら)とを交互に重ねることで、鑑のようなシマシマ模様が浮かび上がるようにしています。外玄関をくぐると、左前方に庭が見えてきます。

そして真正面には、本堂の広縁が、舟のデッキのように真っ直ぐに伸びています。

直線状に刈り込んだ生垣と砂地で構成されるシンプルな庭が広がる。琵琶湖の波打つ水面を思わせる造形だと言われています。

また、赤土が日本庭園に使われるのはほんとに珍しく、赤土は孤篷庵の庭園の特徴で、苔などを植栽せずそのまま使っていて。夕日に染まった琵琶湖の水面を表していると言われてます。

本来は、茶会に招かれた客は、縁側を端から端まで歩いた後、庭に出ることになります。本堂が舟ならば、ここで舟を降りるということになると想像できます。

そしてお茶室へ向かう露地に向かいます、その路地の先に手前に敷き詰められた石があり、水面をイメージしているとのこと。

そして右を向くと、「三和土」(たたき)に埋め込まれた「飛石」が真っ直ぐに伸びています。その先に「水鉢」があります。そこまでたどり着いて右を向くと茶室の入口となっていて、いよいよ孤篷庵のクライマックス、茶室「忘筌」(ぼうせん)への入室となります。

つまり、先ほどの真っ直ぐに伸びた飛石の先にある手水鉢の前で右を向くと、下半分が開放された障子があり、この下をくぐって茶室に入ることになります。

障子の下の隙間は背丈よりも低くなっていて、頭を下げて入らなくてははいけません、茶室の最大の特徴である「躡口」(にじりぐち)を、全く異なる方法で表現しているもので。このような茶室の例は他にはありません。

頭をかがめて障子の下をくぐった後に見上げると、お茶室の室内が見えてきます。

お茶室の名は忘筌と言います忘筌とは 中国古典【莊子】の外物篇(がいぶつへん)にその由来があります。

筌(せん)は魚(うお)に在る

所以(ゆえん)、魚を得て筌を忘る。

蹄(てい)は兔(うさぎ)に在る

所以(ゆえん)、兔を得て蹄を忘る。

言(げん)は意に在る所以、意を得て言を忘る。

吾(われ)、安(いづく)にか夫(その)

忘言(ぼうげん)の人を得て、之(こ)れと

与(とも)に言わんや。

の中の忘筌をとって名をつけられています。

意味は

「何が目的で、何が手段なのか、間違いのないように注意せよ」という意味で。最後の部分は

私はどうにかしてこのように、本質を知り言葉を忘

れ去った人と共に語り合いたいものである。という事です。

と小堀遠州の気持ちも代弁しているのかもしれませんが。

入室後、お客さんは一度入口に向き直り、飛石の先に備え付けてあった手水鉢で手を清める。縁側から見ると、水鉢はこのように見え刻まれた露結(ろけつ)と言う文字が見えてきます。

「忘筌」の魚の対句になっている、兔を手水鉢の銘にしたものであって、「露結」とは兔を意味する「露結耳」からとっている。兔は体に汗腺がなく、大きな耳で汗を発散させるので、「露結耳」が兔の名となったのであろうとのこと。文字も遠州の直筆です。月で餅つきをするウサギが使っている臼を模している、という話もあります。

そして、いよいよ入室しおもむろに自分が入ってきた方向を見ると、孤篷庵の造形として最も有名な、この景色が広がります。

この景色はたとえと、舟入の間から見える水面と、その向こうに広がる陸地を覆う緑。灯籠は、沖に見える灯台であろうか。この空を見せないところは、もしかしたら、直接見る満月よりも池の水面に映った月を愛でる平安貴族の風習に習ったのかもしれませんが。

そう考えると、手水鉢が突如、水面に映った月に見えてきます。

水鉢にはウサギの意味が込められている。ウサギといえば月での餅つきである。また、本堂前庭の赤土が夕焼けに染まった琵琶湖であるならば、舟を乗り換えてこの茶室に辿り着いた頃には日が暮れて、満月が空に登る時間帯という事なのかもしれません。

またこの茶室の天井板の杉の木目が鮮やかに浮き出ている。ご住職の話によれば、これは、庭の敷石によって見立てた水面から光が反射して、天井に波紋が映っている様子の演出だとのこと。

孤篷庵全体を琵琶湖に浮かぶ小さな船にたとえ、そこからの景色を象徴的に配置し見事にまとめ上げた小堀遠州の造形力は現代の私たちが見ても驚くべきもので、孤篷庵はその内容の密度の高さを実感します。これで先月から続いた小堀遠州のお話は終わります。

(3) 100%出席バッチ贈呈

徳永 昭輝君 14年石本隆太郎君 41年

(4) 誕生日お祝い贈呈(6名)

(5) 結婚記念日お祝いの紹介(4名)

(6) ロータリーの友誌紹介(江越誠広報会報雑誌委員)

(7) 委員会報告

・栞原美樹職業奉仕担当理事より講演会ご案内

新潟 RC 職業奉仕委員会主催講演会

期日 2月23日(木・祝)

会場 イタリア軒3階 サンマルコ

講演 14:30~15:30(受付 14:00 開始)

AKA 療法体験 15:40~17:00

講師 リハブ土田 院長 土田 昌一氏

(仮題)「関節運動学的アプローチ(AKA)による新しい医療提供」

参加費 無料

予定人数 講演 70名程 AKA 療法体験 15~20名程

*申込者が予定人数到達次第、締切り(先着順)

*詳細を郵送致しますので、ご参加希望の方のみ、2月14日(火)までに新潟 RC 事務局へお申し込み下さい。

土田昌一氏 略歴 1981年 信州大学医学部卒業。85年 虎の門病院 脳神経外科医員。99年 鶴巻温泉病院 院長、東京医科歯科大学臨床教授。2010年 リハブ土田開院 / 日本外科学会認定医、日本脳神経外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医、日本AKA医学会認定指導医・専門医

リハビリテーションクリニック リハブ土田

<http://rehabu-tuchuda.com>

AKA 療法とは

関節運動学的アプローチ (arthrokinematic approach: AKA)

関節の遊び、関節面の滑り、回転、回旋といった関節の動きの異常を治療し、関節面の運動を滑らかにする方法。治療方法は、背骨の付け根にある仙骨と、骨盤を形成している腸骨に手を置き、その間にある仙腸関節を中心に背骨や肋骨など、さまざまな関節を手で動かすことで関節機能の障害を治療する。急激な力で動かす治療ではなく、最小限の力と適切な関節をミリ単位で引き出す治療法。マッサージではないので、気持ちが良い、ということはありません。

・高杉職業奉仕委員より出前授業報告

職業奉仕委員会 石橋副委員長の働きかけにより、2022年12月7日(水)に新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科 齋藤 智教授のゼミにて出前授業を行いました。2年生の学生が約20名出席している教室に石橋副委員長と高杉が伺い、「新社会人になるにあたっての心構え」をテーマに講演をさせていただきました。

石橋様からはまず、ロータリークラブの目的や職業奉仕の理念をお話いただきました。その後、講演では「概論篇」として

●日本人はエンゲージメント(仕事への熱意度)が低いという結果が出ているが、それはやらされ感が強いことが理由と考えられる。それぞれ社会に出て就職した職場で、ただ上司から言われたことをやるだけとか、報酬のためだけに働くということでは働き甲斐を見いだせないかもしれない。

●仕事とは価値を創造するものであるべきで、人間には「人の役に立ちたい」という奉仕の心がある。

社会的意義を通じて役に立ちたいために働くコーリング(天職)と呼べる仕事をしてほしい。

●そのために、自己肯定感を高め、うまくいかどうかかわからないことに対しても失敗を恐れずにチャレンジし、失敗から学びながら成長し、自信を持つことで成功を手にしてほしい。という趣旨のお話をさせていただきました。

続いて私からは「実践編」として、博報堂の研修メニューの一つ「企画・プレゼンテーション研修」の中から、誰もが共通認識を持てる事実から説得力のある主張を導く思考法である「ロジカルシンキング」という考え方をご説明し、今後、社会人として様々な人たちとコミュニケーションを取っていくために必要なスキルの一つとして、ぜひ役立てていただきたいと話をさせていただきました。

人間総合学科 齋藤教授のゼミ、約20名の学生のみなさまには、真剣な態度で受講いただきました。現在短大2年生ということで、来年の春から社会に旅立つ学生のみなさんのお役に立てたらありがたいと思います。実施後には学生たちから石橋副委員長の元へ「自分をほめる習慣を付けて自己肯定感を高めたい」

「当たり前のことにも目を向けるよう意識する」「物事を考える仕組みを参考にしたい」等、多数の感想コメントが寄せられました。

今回、ロータリークラブに入会して初めて出前授業をさせていただいて、私自身も大変勉強になりました。

このような機会をいただきありがとうございました。

今後も少しでもお役に立てるような活動を続けていきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

本間 疆君

米山奨学会寄付発表(渡辺 浩幸委員長)

白勢 仁士君 得永 哲史君

青少年育成基金寄付発表(小林 建委員長)

小林 建君

(8) ニコニコボックス紹介(佐藤 紳一委員)

・若槻 良宏君 昨年110月の市内7RC 野球大会でアキレス腱を負傷し、以降、例会に参加できず、皆様にご迷惑をおかけしましたが、ようやく装具が外れ、相当程度歩けるようになりましたので、本日から例会に復帰させていただきます。リアルの例会で皆様にお会いできることは大変嬉しくニコニコします。

・川瀬 直也君 {NHK 歳末たすけあい}と「NHK 海外たすけあい」での募金ありがとうございました。お預かりしました寄付金 46,400 円は確かに窓口に届かせていただきました！皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

(9) 1月10日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
89	87	68	78.16

Zoom 参加 16名

1月17日は新年家族例会です。

会場 行形亭

受付 午後5時 開会 午後5時30分

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

1月10日 理事会報告 出席者 11名

1 例会の持ち方について

新型コロナウイルス感染症も、まだ落ち着きを見せない状況の為、1月、2月に関しても、スクール形式、リモート参加併用形式とする⇒承認

2 野鴨を食べる会収支報告=承認

収入合計 733,000 円、収支合計 670,141 円 残高 62,859 円となった。親睦委員会より、残金について、財団 100 ドル/13,800 円、米山奨学金/10,000 円、青少年育成基金/10,000 円、ニコニコボックス/29,059 円へ寄附する提案⇒承認

3 職業奉仕委員会講演会について栗原理事より説明

2月23日開催予定の職業奉仕委員会講演会について説明 今回は、会員のご家族、お知り合い、また他RCにも広く参加を呼びかける⇒承認

4 小川潤也君の職業分類変更について

人材派遣業を経営コンサルタントに変更希望⇒承認

5 グローバル補助金奨学金申請者

新潟大学4年生 田中悠さん推薦について履歴書他、提出書類について、理事会参加者にて回覧申込要綱等、不明な点がある為、地区事務所にて詳細を確認し、2月の理事会にて再度報告尚、クラブ負担自体は無いが、カウンセラーを選出する必要がある

6 1月のプログラム⇒承認

1月10日 第一例会につき卓話なし

1月17日 新年家族例会 17:30 開会 於 行形亭

1月24日 会員スピーチ

白山神社 宮司 小林慶直君

1月31日 卓話 アルビランニング 広田有紀選手

7 その他

・佐藤理事より、インターアクトの活動資金について現在、活動資金が必要な案件毎に、新潟RCに申請を行っている。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、今後は活動も活発化する為、他インターアクト(東京学館)のように、予算化をお願いしたいとの明訓高校の担当教員(斉藤先生)からの要望。⇒理事会での承認を含め、来年度の予算案にて検討

・石橋直前会長より

RI会長エレクトが、2023-2024 年度テーマを発表したとの報告1月9日、マッキナリーRI会長エレクトがロータリー国際協議会にて講演を行い、

「世界に希望を生み出そう」をテーマに、平和の推進、メンタルヘルスへの取り組み等について発表